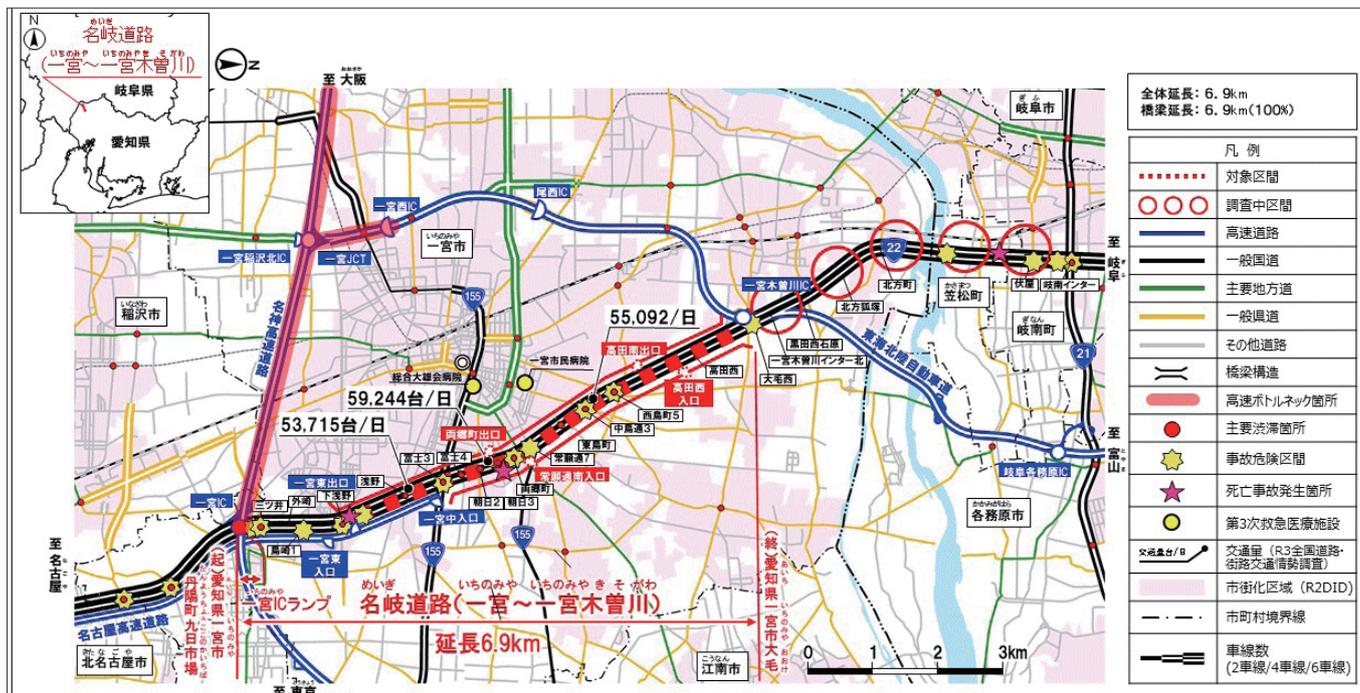


愛知国道事務所の事業概要

国土交通省 中部地方整備局
愛知国道事務所長 吉川 昌宏



名岐道路計画図

1. はじめに

愛知国道事務所は「道づくり」を通じて、人・もの・情報の交流を円滑にすることで尾張地域の暮らしと経済を支えることを目指し、事業を推進しています。

現在、名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)、国道22号名岐道路(一宮～一宮木曾川)、国道41号名濃バイパス、国道247号西知多道路(東海ジャンクション)、国道302号の5路線約87kmと国道302号東部共同溝(春日井市?名古屋市)の約24kmの整備、国道41号名濃バイパス・

国道302号西南部の電線共同溝整備(無電柱化)等の事業および一宮西港道路の道路調査を担当しています。

2. 主要事業の概要

名古屋環状2号線

名古屋環状2号線は、国道302号、名古屋第二環状自動車道、伊勢湾岸自動車道からなる延長66.2kmの環状道路です。1971年に国道302号が事業化され、1980年に国道302号の北部区間、1985年に伊勢湾岸自動車道の名港西大橋が開通して以降順次開通しました。2021年5月1日に、最後の区間となる、名古屋西

JCT～飛島JCT間の開通により、全線開通となりました。

これにより、名古屋都市圏の経済効果発現、交通分散における渋滞の緩和および物流の配送コスト削減などに寄与するほか、国際拠点の名古屋港や中部国際空港へのアクセス強化および災害時等の道路ネットワークの確保が可能となりました。

今年度は、国道302号の暫定2車線区間の4車線化に向けて、西南部区間では改良工事や舗装工事、遮音壁設置工事、東北部区間では名鉄瀬戸線の立体化工事や改良工事、橋梁



国道 247 号西知多道路 橋梁架設工事

上部工事、西北部では名鉄名古屋本線の踏切除却に向けた仮線準備工事を推進しています。また、東南部区間では共同溝工事を推進しています。**国道 22 号名岐道路（一宮～一宮木曾川）**

国道 22 号名岐道路（一宮～一宮木曾川）は、愛知県一宮市丹陽町九日市場から一宮市大毛の区間における延長 6.9km の自動車専用道路です。

高速道路のボトルネック箇所や国道 22 号の渋滞緩和、地域産業の活性化、交通安全の確保等を目的に、今年度、新規事業化しました。今年度は測量・調査設計等を推進します。

国道 41 号名濃バイパス

国道 41 号名濃バイパスは、愛知県名古屋市から岐阜県美濃加茂市へ至る主要幹線道路であり、その中で

慢性的な交通渋滞が発生している愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸における交通容量の拡大による渋滞緩和、高速道路インターへのアクセス性の向上を目的とした延長 7 km の 6 車線化事業です。

車道部の 6 車線化を 2024 年 2 月 20 日に完了し、引き続き、歩道部にて災害に強い道路等を目的とした電線共同溝整備（無電柱化）を推進します。

国道 247 号西知多道路（東海ジャンクション）

国道 247 号西知多道路は、中部国際空港と名古屋港および高規格道路を連絡し、名古屋都市圏専道網を形成することで、国道 247 号の渋滞を緩和し、物流効率化によるものづくり産業の支援を目的に計画された

道路です。

今年度は、橋梁の上下部工事を引き続き推進していきます。

道路調査関係

道路調査関係として、一宮西港道路の調査検討を実施しています。一宮西港道路は、東海北陸自動車道および名神高速道路が交差する一宮 JCT から伊勢湾岸自動車道および名古屋港を結ぶ高規格道路です。今年度は都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進します。

3. 終わりに

愛知国道事務所は、引き続き、地域を支える「道づくり」によって、皆様に喜んでいただけるよう事務所職員一丸となり業務に邁進してまいります。